

# 猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会報告

組合議員 今中喜明

国崎クリーンセンターは、平成21年4月の稼働に向け順調に工事は進んでおり、本体建物はほぼ完了し、残すは建物周辺の植栽や外構工事のみとなりました。

11月24日から炉の試運転が始まり、それに必要な可燃ごみが本町からも搬入されております。

## 平成20年第3回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会臨時会

平成20年第3回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会臨時会は、11月11日に開会し、同日閉会しました。この臨時会において、正副議長の選挙、専決処分報告2件、条例制定1件、指定管理者の指定1件、平成20年度補正予算(第1回)、監査委員の選任議案が上程され、いずれも承認可決同意されました。

### 選挙

- 議長選挙【議長 岩田秀雄(川西市)】
- 副議長選挙【副議長 植村壽雄(豊能町)】

### 報告

- 専決第1号 猪名川上流広域ごみ処理施設組合の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の制定について(承認)
- 専決第2号 猪名川上流広域ごみ処理施設組合議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(承認)

### 議案

- 国崎クリーンセンター廃棄物処理手数料条例の制定について(原案可決)
- 国崎クリーンセンター啓発施設の指定管理者の指定について(原案可決)
- 猪名川上流広域ごみ処理施設組合補正予算(第1回)について(原案可決)

### 予算

- 歳入歳出補正額 56,827,000円
- 監査委員の選任について(同意)

### 同意

- 【監査委員 今中 喜明(能勢町)】

## 町民の声を代表して7人の議員が一般質問をしました！



今中 喜明

一、今後の町政方針について  
二、都市計画における地区計画のあり方について

**問** 中町政二期目にあたり町政運営の基本姿勢、並びに緊急的な課題は何かを問う。

**答** 私の基本姿勢、これはあくまで能勢という地域が自立し将来的にも持続していくことであり、信念に基づき望ましい行政のあり方について模索し続けることが、私に課せられた使命であると考えている。

緊急の課題としては、ダイオキシンの最終的な処理の対策、また火葬場の建設に鋭意取り組んでまいりたい。

21年度当初予算編成にあたり、

一、簡素で効率的な行政窓口の設置に向けた組織の再構築。

二、地域の活性化に向けた観光情報誌の創刊。

三、防災体制の充実、また強化に向けた防災拠点の新設。

四、森林組合の林業総合センターを活用した生涯学習施設の整備。などに取り組みたい。

**問** 地方自治の観点から区制度をどのように考えているか、また、今後のあり方はどうあるべきか問う。

**答** 今までの交付金としての補助だけでなく、福祉関連も含めたソフト面にも広く自治推進事業として交付金を拡大していく考えであるとともに、各地区で守っておられる地域独自の伝統文化や行事にも該当するのではと考えている。

**問** 行政と区長制度との関係はどうあるべきかを問う。

**答** 現在の区制度を引続きお願するが、区長さんへの負担とか、区との協働の観点から話し合いを深めていく。また、職員の出前制というか地区

担当制を考えている。区長の右腕になって負担の軽減になればと思っているところである。

**問** 平成18年の都市計画法の改正により地区計画の見直しがありました。本町の町づくりにも活用できないか問う。

**答** 地区計画は、基本的には民間の事業者等の発意のもとに、都市計画決定を行うことを想定している。

一方、本町の土地利用の方針は、総合計画において、基本的に里山の保全・活用をめざすこととなっている。

本町のガイドラインは府のガイドラインを踏まえつつ、市街化調整区域での地区計画は市町区域での基本理念を堅持しながら、緑豊かで良好な土地利用の継続をめざすところである。